よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

2019
9月号
vol.638

月刊 同友

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU

特集

中小企業憲章推進月間大勉強会ダイジェスト
地元経済を創りなおす

ポケット月刊同友はじめました↓

21世紀型自立型企業づくり

お客様へ心からの安心を
栗原　朋宏 氏【株式会社ベストプランニング】

同友会　3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

はみだしレポート

今月の自立型企業づくり

株式会社ベストプランニング
代表取締役
栗原　朋宏　氏
（久留米支部）

私が栗原さんをご紹介します

株式会社東洋硬化
代表取締役社長　小野　賢太郎
（久留米支部 副支部長）

現在、久留米支部で副支部長を務めておられる栗原朋宏さんとの出会いは、記憶が定かでなくて恐縮なのですが、十五年ほど前だったと思います。他の経営者団体会員の伝手で久留米支部に入会したての私だったのですが、栗原さんは年齢こそ十数歳下とはいえ、私より会歴が長く、溌剌とした物言い・態度物腰の素晴らしい先輩会員でした。現在、栗原さんや私と同じく久留米支部副支部長である鍵田康策さんのお母様が主宰しておられた「鍵田ブロック」で、私と栗原さんがご一緒した後、ごく親しくさせていただきながら現在に至っています。

お仕事柄、聴く相手の内面に無理なくく入り込んでいく口調を持ち、それでいて己の意思を相手にしっかりと理解していただく才能を研ぎ澄ませ、傍で聞いていて非常に頼もしくかつ勉強させていただくことしきりです。所属しておられる保険代理業界のお世話役、そして優秀成績表彰も再々受賞され、現在、脂が乗り切った状態であるとお見受けします。

ご年齢はまだ四十台半ば、久留米支部内でもさらに下の世代の支部会員を引っ張っていく頼もしい先輩経営者になってくれることと思います。

飲みごとの予定をすっぽかすことが無くなるならば、ほぼ満点、非の打ちどころがなくなるものと常々期待しています。

今月の表紙　**大牟田市役所**

撮影・文／間々田正行（福博支部）
九州の取材.com メニィデイズ 代表

解体か改修か。市庁舎本館をめぐり私の故郷・大牟田市が揺れています。本館は空襲で焼け残り、国登録有形文化財指定の歴史的建造物。ただ、大牟田で過ごした時代、市庁舎を訪ねた記憶はなく（社会科見学で行ったかも）、2年前、必要に迫られて福祉窓口を訪ねたのですが、1階の玄関ホールが中2階のような位置にあるユニークな造りに感心したものです。（相談窓口は半地下のような1階にありました。実際は半地下ではないけど）。また、建物随所に残る昭和の香りもよかったな。かつての大牟田警察署も雰囲気ある建物でしたが、今は建て替えられて味気ないものになっています。イタリアのようにいいものは残した方がいい。強く、そう思います。

福岡同友会へ
Message

中小企業庁 福岡県よろず支援拠点
チーフコーディネーター
佐野（さの） 賢一郎（けんいちろう） 氏

一般社団法人福岡県中小企業家同友会の53年にわたる地域経済への貢献について、心より敬意を表します。

「よろず支援拠点」ご存じですか？

「よろず支援拠点」は、平成26年に中小企業庁が47都道府県に設置した、「無料の創業・経営相談窓口」です。福岡県では、現在、現役経営者・販売促進専門家・経営改善専門家等38名の専門家（コーディネーター）が、貴会本部と同じ中小企業振興センタービルの6階にて土日祝日も年中無休で（ビル閉館日を除く）、相談窓口を開設しております。

来訪相談者数は、4年連続で全国最多です。月に1300者超が経営相談に来訪されています。貴会会員様はじめ、福岡県の中小企業の皆様のヤル気の現れであり、我々相談員も気合いを入れて、相談をお受けしています。

また、経営セミナーも月に100回超開催しており、さらに商工会・商工会議所等の県内67ヶ所の経営支援機関に設置したテレビ電話からの相談もお受けしています。

多くの事業者に知って・活用していただきたい

よろず支援拠点は歴史が浅く、経営者の皆様への認知度はまだまだ低く、無料で売上向上・経営改善等の相談を受けられる便益が広く認知されていないのが現状です。

何度お越しいただいても無料ですので、機会があればぜひお気軽にご利用ください。また、周囲の経営者様へもご紹介くださいますと幸いです。

当拠点としても、ご提供するサービスを日々ブラッシュアップし、微力ながら地域経済の発展に献身して参りたい所存です。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

福岡県事業引継ぎ支援センター
統括責任者
奥山（おくやま） 慎次（しんじ） 氏

一般社団法人福岡県中小企業家同友会におかれましては、地域と共に歩む中小企業づくりを目指し、福岡県下の21支部を拠点に会員相互の情報共有や研鑽の場を設け、地域経済振興のために活動されています。これまでの役員ならびに会員の皆様の精力的な取組みとそのご尽力に心より敬意を表します。

さて、私ども福岡県事業引継ぎ支援センターは、中小企業経営者の高齢化に伴い事業承継問題が深刻化する中、中小企業の円滑な事業承継を図るため2012年に設置されました。当センターでは、親族や従業員、第三者への事業引継ぎの相談口として、中小企業診断士・公認会計士・税理士・弁護士といった専門家が事業承継・事業譲渡を行う上での様々な課題の対応にあたります。また、事業譲渡の相手先のご紹介も行っております。

近年では後継者不在による廃業や、十分な事業承継対策を行っていなかったために会社の業績が悪化してしまったケースも存在しており、中小企業にとって事業承継問題は非常に重要な問題です。

一方で中小企業は、日本の全企業数のうち99.7%を占め、全従業者数は日本の雇用の約7割に上っており、生活に密着した財やサービスの提供を通じて地域の雇用と産業を支えています。廃業や事業承継の難航によりその基盤が失われることは地域経済にとって大きな痛手となります。

当センターではそういった地域経済の基盤を守るため、円滑な事業のバトンタッチ、次世代への経営資源のスムーズな承継を支援しております。2012年2月の設立から2019年3月までの累計相談件数は1248件に上り、今年度も6月末時点で既に73件の相談が寄せられています。第三者承継の相談も年々増加しており成約件数は110件を超えました。

福岡県中小企業家同友会会員の皆様にも、自社ならびに地域経済のため、当センターをご活用いただければ幸いです。今後とも皆様のお役に立てるよう邁進してまいりますので、何卒宜しくお願い致します。

中小企業基本法が公布・施行された7月20日が「中小企業の日」となりました。
「中小企業憲章」が2010年に閣議決定されてから9年が経過しました。
福岡同友会では毎年6月を、中小企業憲章推進月間とし、
中小企業が正当に評価される社会を目指す憲章運動を進めてきました。
今年は枝廣淳子氏を講師にむかえ地域経済の重要性について講演していただき
今回は講演の内容のダイジェストと福岡同友会の見解を坂本氏（副代表理事）
に語っていただきます。

中小企業憲章推進月間（6月）大勉強会ダイジェスト

地元経済を創りなおす

～いま、しなやかに立ち直る力を地域で育むには～

【内　容】

日本の各地を見てきて思うことは二極化が進みつつあるということです。元気と勢いの感じられるイキイキした町とよどみ感の広がる活力の感じられない町があります。

地域を取り巻く状況として温暖化の影響があります。

2015年12月COP21「パリ協定」が締結されました。「今世紀後半には温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする」という目標が設定されており、日本の現時点の目標は、温室効果ガス排出量を2030年まで2013年比で26％削減することです。東京都は2050年のCO2排出を実質ゼロ目標にすると発表しています。今世紀後半には化石燃料との決別、省エネ・再エネが不可欠です。「低炭素」ではなく「脱炭素」です。

地域にはそれ以外にもさまざまな課題があります。

不安定・不確実な時代を生きていくために必須の『レジリエンス（回復力、再起力、弾力性）』即ち、しなやかな強さ（柳や折れない強さ）が必要です。

それには、まず「ぶれない芯」＝地域の未来についての共有ビジョンを持つことです。

ホップ：未来の望ましい街の姿を描き、

ステップ：つながりをたどって現状の構造を理解し望ましい好循環を描き、

ジャンプ：悪循環を断ち好循環を強めるプロジェクトを立案・実行する。

次に、外部に依存し過ぎず、持続できる地域経済（人・お金・資源）が必要です。

そのためには、『漏れバケツ』の穴をふさぐことです。地域に入ったお金を地域内でぐるぐる回すことです。

地元経済の『漏れバケツ』の現状を知る方法は

①市町村の産業関連表（下表参照）

②LM3（地域内乗数効果）つまりある組織を対象にその支出が地域経済にどのような影響を与えているかを測るものです。3巡目までの収入の合計を1巡目の収入で割った値です。

③買い物調査　多くの自治体や商工会で商圏調査等のために行っていますが、地元経済の「漏れ穴」を探すためには使われていないのが現状です。需要予測ができて起業・起業者の呼び込みができます。この3つの組み合わせで活用することが有効です。

打ち手を実行し効果を『見える化』します。それにより、住民の安心・幸せ、域外へのアピールができます。

繋がる）

これにより、「若者が残る、若者がやってくる！」そんな地域になっていくのです。

文章担当▼広報部：菅原　弘（東支部）

産業連関表：地域の経済構造を知る

	第1次産業	第2次産業	第3次産業	風力発電	内生部門計
第1次産業				中間投入の増加	
第2次産業					
第3次産業					
風力発電					
内生部門計					

※産業連関表の一部

「ある産業の需要が1単位増えることで他産業への需要がどの程度増えるか」といった波及効果も測れる

▶「全体としてどのくらいの規模の経済効果が生じるのか」を計算できる

報告者

大学院大学至善館教授／
幸せ経済社会研究所所長
枝廣　淳子 氏

福岡同友会が考える中小企業の担う役割

未来は地域にしかない！

中小企業は社会の主役である

2010年6月、「中小企業憲章」が閣議決定されました。その書き出しには、〝中小企業は、経済を牽引する力であり、社会の主役である〟と書かれています。

その後毎年、中同協では「憲章・条例推進キックオフ集会」が国会内の会議室にて開催され、福岡同友会では2011年以降「中小企業憲章推進大勉強会」を開催してきました。当初は「憲章」そのものの理解を深めることから始まり、各地区の中小企業振興基本条例制定に向けての動きを学び、条例に基づく、新たな仕事づくり、教育の課題に広がってきました。少子高齢化、人口減少社会の中で、地元に若者を残すことが地域づくりの大きな課題との認識が広がり、運動方針にも掲げました。

そして、2018年2月に発行された「地元経済を創りなおす―分析・診断・対策」に出会い、「地域分散シナリオ」実現にむけて取り組むことは、中小企業憲章の方向の実現であり、「中小企業観」を変えていくことにつながると確信し、今回、著者の枝廣淳子氏より「地元経済を創りなおす　～いま、しなやかに立ち直る力を地域で育むには～」というテーマで6月11日に勉強会を開催しました。参加者は行政、他団体、金融機関、会員併せて76名でした。

競争力の源泉である環境問題

最初に「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略策定に向けた懇談会」に参加した報告から開始しました。安倍首相の挨拶で「温暖化対策は、企業のコストではない。競争力の源泉である。」「環境問題に積極的な企業は、世界中から資金が集まる。環境と成長の好循環が世界規模で、ものすごいスピードで進んでいます。」と話されました。国にとっても、企業にとっても、地域にとっても「パリ協定」「成長戦略」「エネルギー政策」は大切で、〝未来は地域にしかない！〟と話されました。地域を取り巻く状況に温暖化の影響があり、地球温暖化の「日本への影響」は2090年代には洪水被害額が最大で3倍、年平均気温が3度から6度上昇、暑さが原因で死亡する人が2倍以上になる。COP21「パリ協定」の説明を聞きました。パリ協定が画期的である3つの理由「世界全体が取組枠組み」「気温上昇を2℃よりも低く抑える（1・5℃もめざして努力する）」「今世紀後半には温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする」です。そして、パリ協定が本当に意味するものは「化石燃料との決別」「省エネ、再エネ」です。世界では「自治体の気候非常事態宣言」「科学者たちの支持表明」「学生の気候ストライキ」等の動きが急速に広がっています。日本の自治体の気候非常事態宣言はゼロですが、ニセコ町は2050年に2015年比86％減、神戸市は2030年に2013年比93％減、東京都は「2050年にCO2排出を実質ゼロ」目標を発表しています。低炭素でなく「脱炭素」だと話されました。

副代表理事
地域づくり推進本部長
坂本　敏弘 氏　（北九州支部）
計測検査㈱　代表取締役

折れないまちづくり

日本創生会議で挙げられた消滅可能性都市は2040年までに全国で523市区町村となります。日本の市区町村は1799あり、人口3万人以下の市町村は954、日本人口に占める割合が約8％、しかし日本の面積に占める割合は約48％もあります。この市町村が消滅すると防災、防衛、防犯が懸念され、国民が安心して生活できなくなってしまいます。この不安定・不確実な時代を生きていくために必須の力として「レジリエンス」が必要です。外部からの衝撃が不可避な時代に個人・組織・地域・社会が外部からの衝撃・影響に対して持ちこたえる回復力、再起力、弾性力が必要です。柔弱勝剛性（柔弱は剛強に勝る　老子 第36章）が必要で、柳や竹のように折れないまちづくりをする必要があります。折れないまちづくりに必要なもの「ぶれない芯＝地域の未来についての共有ビジョンをつくる」「外部に依存しすぎず、持続できる地域経済」の二つがあります。

ぶれない芯をつくるために、「ホップ：ビジョン（バックキャスティング）は未来の望ましい町の姿を描く」「ステップ：つながり（システム思考）はつながりをたどって現状の構造を理解し、望ましい好循環を描く」「ジャンプ：変化（プロジェクト）は悪循環を断ち、好循環を強めるプロジェクトを立案・実行する」の3つがあります。

外部に依存しすぎず持続できる地域経済にするには、いわゆる「漏れバケツ」の穴をふさいで地域の隅々までに還流させる必要があります。漏れバケツとは「お金をひっぱってくる」「地域に入ったお金をどれだけ滞留・循環させるか」です。地元経済の漏れバケツの穴をふさぐとお互いの収入・地域の税収が増え、人のつながりが強くなります。目指しているのは「地域内」と「地域外」のバランスのとれた社会なのです。地元経済の「漏れバケツ」を「見える化」する方法は3つあります。

①市町村の産業連関表
②ＬＭ３（Local Multiplier 3・ある組織の地域内乗数効果）
③買い物調査

この3つを組み合わせて活用することが有効です。北海道下川町は漏れをふさいだことにより地域内生産額が28億円増加し、100名の雇用を生み出しました（町の自主財源である町税は約3億円）。

地元経済の構造を変える

地域での最大の調達元は市役所・町役場です。

行政の取り組みとして英国のマンチェスター市の取り組みを見てみましょう。同市は調達先を決める際の評価軸を価格40％、品質40％、社会的評価（地元調達、インターン受入、地域ボランティア活動など）20％に変えた結果、地域内企業への支払いが71・7％、中小企業への支払いの割合が59・4％に増え、推定1160人の雇用が創出された。横浜市では横浜市中小企業振興基本条例第7条(2)で調達について言及しており、「市が行う工事の発注、物品及び役務の調達等に当たっては、予算の適正な執行並びに透明かつ公正な競争及び契約の適正な履行の確保に留意しつつ、発注、調達等の対象を適切に分離し、又は分割すること等により、市内中小企業者の受注機会の増大に努めること」としています。工事関係は、分離・分割発注の事例を庁内で共有し、小規模工事は、参加者を市内中小企業者に限定した入札を実施しています。物品及び委託は、一定金額以下の一般競争入札において参加者を市内中小企業者に限定し、事業者選定において市内中小企業者の選定状況を必ず確認した結果、横浜市全体の発注金額のうち80％を市内企業が占めているのです。

地元経済を「見える化」して「きちんとしたデータを活用して地元経済の構造を変える！」ことが大切です。

最後に持続可能で幸せな地域の3つの循環は「人の循環」「資源の循環」「お金の循環」と結んで講演が終わりました。

環境問題は企業のリスクではなくチャンスであること、しなやかで折れない心のためにもレジリエンスが大切で、折れないまちづくりのぶれない芯は経営指針であることを確認しました。漏れないバケツを実施していくことが中小企業振興基本条例につながって行きます。一つずつ、一歩ずつ進めて行きましょう。

お客様へ心からの安心を

～継承して「家業」から『企業』に脱皮し理念経営へ～

株式会社ベストプランニング　代表取締役
栗原（くりはら）朋宏（ともひろ）氏
久留米支部

同友会の学びを活かして、『家業』から『企業』へ移行した会員の報告です。そこには理念とビジョンがありました。

継承を決意

「もうすぐ創業40周年を迎えます」と話し始めたのは、㈱ベストプランニング代表取締役の栗原朋宏さんです。昭和54年に父親の武弘さんが損害保険代理店を立ち上げました。

時を前後して、昭和50年に栗原さんは双子の弟として生まれます。兄・武史さんと共に熊本大学に進み、お兄さんは日本生命に、栗原さんは三菱重工業に就職します。いずれは兄が家業を継ぐだろうということが衆目の一致するところでした。

平成16年に父親が大病を患い、お客様を守ることができない状態に陥りました。家業を継ぐものと思われたお兄さんは、諸般の事情で実家に戻れない状況でした。一方、栗原さんはすでに結婚しており、三菱重工業・本社人事部で勤務していました。佐賀にある奥さんの実家に相談したところ、「ぜひ、近いところで働いてほしい」と懇願されました。栗原さんは実家を継ぐことを決意しました。

保険業界に飛び込む

腹をくくった栗原さんにとって、この転機は受け身ではなく、本気で取り組みました。小さい頃から父親の背中は見ていたものの、全く畑違いの仕事

者のやり方は理解しますが、現状のままでは広がりが見えず、先行きを不安視していました。

同友会との出会い

父親は郡隆夫さん（シグマコンポーネント㈱・久留米支部）と同級生で、以前から同友会に誘われていました。そこで、栗原さんが専務取締役として、経営の勉強をすべく入会することにしました。

入会してすぐに参加した例会でのグループ討議でのことです。会員さんが経営者として、社員のことや会社運営のことを話しているのを聞いて大きな刺激を受けました。

「自分もこの土俵にあがりたい」

もともと大企業に勤めた経験を持つ栗原さんは、家業ではなく企業として仕事をしていき、経営者になりたいと思うようになりました。

同友会の勧めで、経営理念の作成をする『あすなろ塾』、経営指針書作成の『2泊3日セミナー』に参加しました。考え抜いたという経営理念は次の通りです。

〝全てのお客様へ
心からの『安心』の提供を。〟

と言わざるを得ません。まずは保険会社に勤め、資格を取るなどしながら学んでいきました。

一年後に家業に入りました。父親は後継者ができたことをたいへん喜んでいたと言います。幸い病状は好転し、病気とうまく付き合いながら仕事をする状態でした。母親と3人で再スタートです。業務内容は損害保険一本でした。栗原さんは、創業者の思い、創業父親に話すと「おまえもよう考えるようになったのぅ」と喜んでくれたそうです。

現在でもこの理念は変わりません。

企業への脱皮

栗原さんは独自の色を出していきたいと思っていました。2年ほど経て、損害保険一本だった事業を生命保険にも広げていきました。これは三菱重工・人事部で年金や福利厚生に携わっていた経験が役に立っています。

父親のお客様も大切にしながら自ら新規顧客の開拓にも当たりました。同友会の学びを活かし、法人のお客様にも取り組んでいきました。

さらに保険会社の研修生に声をかけて社員に採用していきました。

「保険代理店は、突出した経営者がいて、それをサポートするスタッフがいるか、個人事業主の集団というケースが多いのですが、私は組織としての保険代理店を目指しました。ですからウチの社員は固定給です。そして、組織だからこそ理念が重要なのです」と栗原さんは言います。

事業サービスを拡げて顧客を開拓し、社員を増やしていきました。こうして家業から組織運営をする企業へと変遷していきました。

戦略と戦術

栗原さん自らも営業に回ります。若い社員には同行してOJTで営業を教えるようにしています。ひと月100軒訪問、60件提案を目標（ノルマではない）にしています。

「それくらいの意気込みがないと数字は付いてきません。私も他の営業社員同様、この目標に向けてがんばっています」

20年ほど前は業界には50万社あった保険代理店が今では18万件まで減りました。反対に保険募集人は100万人から倍増したとも言われます。競争は激化しています。

平成26年、2代目社長に就任します。それと同時に『ファイナンシャルプランナー』として幅広くお客様に安心を

落ち着いた雰囲気のオフィス

人生の様々なシーンで相談ができて大事な場面で思い出していただける存在に

お客様に好評をいただいている
スタッフ手作りの「ベストプランニング通信」

提供できるように体質を変えていきました。

結婚、子どもの教育資金、家を建てる、相続対策など人生の様々なシーンにおいて相談ができて、アドバイスができるようにしました。お客様に心からの安心を提供するという理念に沿った戦略です。会社を挙げての支援もあり、営業スタッフ全員がファイナンシャルプランナーの資格を取得しています。

営業も従来のパンフレットを広げての商品説明ではなく、まず保険の仕組みについてじっくり説明するところから始まります。お客様の大事な場面にすぐに思い出していただけるように心がけています。心からの安心という一つの指標は、お客様を3世代にわたってお守りしていくと定義しています。他の保険代理店とは違った路線で差別化を図っています。

最近では新聞社やラジオFM局とタイアップした相談会などが好評を得ています。「詳しく説明が聞きたい」というお客様には、「ご夫婦でお越しください」との一言も忘れません。

また、『ベストプランニング通信』を定期的に発行し、お客様とのコンタクトを保っています。

社内コミュニケーション

栗原さんは社内のコミュニケーションを大切にしています。

日報はDropBoxを利用して全員が情報を共有できるようにしています。お客様に対しては担当制を敷いていますが、情報を共有し代替でサポートできるようにして、休みを取りやすい環境を作り出しています。「先日私も子どもの授業参観に出てきました」と栗原さん。

経営理念は変更がないので毎月のミーティングでは『確認』という形で取り組んでいます。給料が固定給ということは前述しましたが、将来のビジョンとして目標金額も明示しています。「あとはひたすら飲みニュケーションですね」と笑顔の栗原さんです。

同友会でも活躍

同友会では久留米支部の副支部長を9年にわたって務めています。久留米支部は2つのブロックと未来塾が支部の柱となっています。『未来塾』は若手の会員さんのフォロー中心に、同友会を知っていただくことや『あすなろ塾』前の数字の勉強会や自己を客観的に見つめる勉強会です。支部としては県の委員会利用者が少ないと見るや、例会で委員会利用方法の例会を企画したりもしています。

すぐに思い出してもらう会社に

取材の最後に栗原さんの考える自立型企業についてお伺いしました。「ウチは、お客様に人生のイベントがあったときに一番に思い出していただける企業を目指しています。そのためには常にお客様の立場に立った提案ができることです。社員がプロ意識、誇りを持って仕事に対処する。そうすれば自ずと発展・拡大していく自立型企業になるのではないでしょうか。社員一人ひとりのレベルアップが必要です。ウチはまだまだ発展途上ですが…」と締めていただきました。

取材協力ありがとうございます。

取材　広報部
文章担当　菅原　弘（東支部）
写真　旭　晋平（同友会事務局）

株式会社ベストプランニング
創業　1980年（昭和55年）4月（栗原総合保険事務所）
設立　2001年（平成13年）7月
（有限会社ベストプランニング栗原）
改組　2011年（平成23年）8月
（株式会社ベストプランニング）
住所　久留米市南3-23-19-1
電話　0942-21-4398
従業員数　13名（うちパート・アルバイト3名）
HP-URL　https://www.hoken-bp.com
事業概要　保険代理店業。ファイナンシャルプランニング業。

支部自慢 青年支部

挑戦し、経験が自信となって自己成長に繋がる支部

報告者

前青年支部長　大丸 拓郎
株式会社大丸製作所　常務取締役

皆さんこんにちは！

今回は、私が所属しております、元気と若さあふれる青年支部をご紹介します。

その前に私自身のご紹介を少し。㈱大丸製作所の大丸拓郎です。だいまるではありません、おおまるです。２０１８年度青年支部の支部長をさせていただきました。妻一人、子一人、いつまでもフレッシュな40歳です。仕事は家具製造業を営んでおります。

まず、青年支部の歴史についてです！

青年支部は40年前に我々の先輩方が福岡にいる40歳以下の若手経営者や後継者を集めて、全国に負けない活気あふれる支部を作っていただいたのが始まりです。それから多くの若手経営者が青年支部で大いに学び、汗をかき、時には涙を流し、各支部へと巣立って行かれました。今も多くの青年支部卒業生が各支部でご活躍されています。

昨年、無事に支部創立40周年を迎えることができました。創立40周年記念例会では約２００名の青年支部ＯＢ、関係者が集まり盛大な式典となりました。

創立40周年記念例会

歴代青年支部長が勢ぞろいしました

25年前の支部総会での記念写真

約30年前のころです

先輩方のお力で現在の青年支部があります

次は、日々の青年支部活動についてです！

現在青年支部には約80名の会員が所属しています。ブロックは5つで、どの会員も積極的に参加しています。

支部の一番の自慢ですが、ブロック会の参加が概ね70%を超えています。今年度のブロック会では、ブロック会の欠席1名、出席率がなんと90%を超えるブロックもありました。仲間を大事にする気持ちや団結力はどの支部にも負けないと自負しております！

そして、例会では青年ならではの悩みである『事業承継』や『古参社員さんとの関係』など独特の例会内容で日々勉強しています。若手経営者同士で熱くグループ討論をし、日々の経営に活かしております。どちらの支部も例会の内容は素晴らしいですが、若手は特に青年支部で学べる内容の例会が多いと思います。是非、他支部からもお越し下さい。

青年支部独自の活動についてです！

青年支部といえば、毎年4月に開催している『福岡フレンドシップフェスティバル』です。これは、福岡市役所前広場で支援事業所や作業所の物販を我々がお手伝いする、という青年支部最大の例会です。

『我々青年支部が架け橋となる。』をテーマに毎年開催しております。会員の皆さんからいただいたバザー品の販売、ステージイベント、飲食ブースなど毎年大盛り上がりで開催しております。

支部会員は作業所の訪問や見学を行い、真のバリアフリー社会の実現の為に学び合っています。

支部会員の中には、今期障がい者雇用を始めた会社もありました。

青年支部の特徴は、なんといっても40歳以下で構成されているため、各学年にたくさんの同級生がいることです。特に、私の学年（今年40歳の学年）は約12名の同級生が在籍しており、良きライバルとしてお互いが切磋琢磨しています。ライバルに負けないように積極的に支部役員をうけたり、役員会で議論したり、会社の悩みを相談したり、とても良い刺激になっています。40歳の厄入りの時には厄八幡宮にて厄払いをし、厄背負い会で厄を後輩に背負ってもらっています。そして、40歳を迎えた会員は青年支部の思い出を胸に卒業されます。毎年4月の支部総会後は、先輩を送り出す盛大な卒業式が開催されます。卒業式では後輩から花束を渡されて、涙を流す方もいらっしゃいますし、お酒を飲んで楽しく笑顔のまま卒業される方もいらっしゃいます。皆さん、各支部に移籍されてご活躍されています。卒業しても青年支部での思い出は一生の財産ですね。

2018年の卒業生

厄八幡宮にて

今年40歳になる同級生

魅力たくさん、青年支部！

いかがでしたでしょうか？青年支部に少しご興味がわかれましたか？まだまだ、青年支部にはこのページでは収まりきれない位の魅力がたくさんあります。

最後に、私は31歳で青年支部に入会しました。9年間の支部生活でたくさんのことを学びました。組織経営、経営計画、事業承継等もありますが、一番の学びはたくさんの挑戦ができたことです。青年支部の歴史は、若者の挑戦の歴史でもあります。数多くの若者が青年支部で様々なことにチャレンジしてきました。フレンドシップを立ち上げた方々、周年事業を行った先輩、会社が大変な時にブロック長をやり通した方、２００人規模の例会を開催した方等、成功することもあれば失敗することも多々あります。しかし、挑戦する勇気や気持ちは結果以上に、自信となって自己成長に繋がります。挑戦しPDCAを行い、ブラッシュアップし続ける、青年支部はそんなことができる素敵な支部です。後継者のみなさん、独立したばかりの若手経営者の皆さん、後継者を育てたい会員の皆様、青年支部で共に学びませんか。いつでもご連絡お待ちしております！最後までお読みいただきありがとうございました。

6月例会風景

最近は女性の参加も多いです

6月例会のテーマは
『同友会青年支部を知ってもらう会』でした

福岡フレンドシップフェスティバル

一般社団法人福岡県中小企業家同友会

第109回 景況調査ダイジェスト（2019年4月～6月期）

「4指標悪化にも関わらず次期予想が高いのはなぜ?」

調査要領

調　査　時　2019年6月1日～2019年6月31日
対 象 企 業　（一社）福岡県中小企業家同友会　全会員企業2,200社（6月時点）
調査の方法　会員専用サイト（一部FAX）にて配信、自計記入、回収

回答企業の概要

回　答　数　277社の回答（回答率12.6%）（製造業40社、建設業56社、商業流通業27社、サービス業154社　不明0社）
企業規模（従業員数）　0～10名以下 …… 147社　11名～20名以下 … 55社　21名～50名以下…43社
51名～100名以下 …… 17社　100名以上 …… 15社　不明 …… 0社
企業の所在地　福岡地区 169社　北九州地区 43社　筑豊地区 39社　県南地区 23社　県外 3社　不明 0社

概　況

景況感DI（2019年4月～6月期の状況）は、前回の4.3から10.2ポイント減少して▲5.9と悪転しました。売上高DIはプラス域を維持していますが11.5ポイント減少して0.4と大幅悪化しました。利益DI及び新規受注DIも大幅悪化で悪転しました。しかし次期予想DIは11.2ポイント改善して21.6と積極的な数値を示しています。業種別の動向を見ると、製造業（消費財）は前回マイナス値を示していた指標が今回の調査ではプラス域に好転しました。製造業（生産財）と建設業（建築・設備）は各指標で悪転となりました。商業・流通業は景況DIと売上高DI及び新規受注DIが好転しました。規模別の動向を見ると、0名～20名規模の企業は各指標で悪転が目立ちました。21名～30名規模の企業は景況感DIが悪化しましたが全指標プラス域となっています。51名以上の規模の企業はプラス域が目立ちますが利益DIが大幅に悪化しマイナス値となりました。いずれの規模でも次期予想DIはプラス域となり、積極的な見解を示しています。経営上の問題点は、前回減少していた人材に関する問題（人材獲得難・従業員不足・熟練技術者の確保難・協力業者の確保難）が再び浮上しました。その他の問題を見ると「同業者間の価格競争激化」「新規参入の増加」「取引先の減少」は減少傾向にありました。特設項目である従業員の確保に関する設問では、新卒採用を行なったと企業は2割程度で、採用したと回答した企業のおよそ半数が1～2名の採用となりました。インターンシップの受け入れに関する設問では、回答者のおよそ4割が受け入れしていると回答しました。賞与の支給については、6割の企業が支給し、その内約7割の企業が「1ヶ月分以上の支給」となりました。経営指針書に関する設問では、「作成し実践している」と回答した割合は前回よりも増加し、32.7%となりました。経営指針書作成の成果では「作成し実践している」と回答した企業の景況DIはプラス域を推移していますが、「実践できていない」「作成に至っていない」と回答した企業はマイナス域となりました。景気後退局面である今こそ経営指針書の作成と実践の重要性が表れる結果となりました。

全体的な特徴

4指標大幅悪化！しかし次期予想はプラスへ

項目	第108回	第109回	変動幅
景況感DI	4.3	▲5.9	10.2ポイント悪化
売上高DI	11.9	0.4	11.5ポイント悪化
利益DI	5.7	▲3.6	9.3ポイント悪化
新規受注DI	7.5	▲0.4	7.9ポイント悪化
次期予想DI	10.4	21.6	11.2ポイント改善

4指標が大きく減少し、景況感DIと利益DI及び新規受注DIは悪転しました。次期予想DIは前回まで3期連続悪化となっておりましたが今回は11.2ポイントの上昇で21.6と高い数値を示す結果となりました。

No.	今期景況判断	業種	所在地	そのような結果の理由
1	非常に良い	商業・流通業	筑豊	人手不足による、メーカーからの商圏の変譲。
2	非常に良い	建設業（建築）	福岡	公共工事の案件が大幅に増えた。
3	よい	サ業（対個人）	北九州	事業規模を拡大したため。
4	よい	サ業（対個人）	県南	ボランティア活動を始めたため。最後に報酬が入る仕事が増えたため。
5	よい	建設業（建築）	福岡	受注高減と単価の減少を見込んで、固定費と経費の削減をしたから。
6	よい	製造業（消費財）	福岡	ネットからの受注が増えた。
7	普通	商業・流通業	筑豊	半導体を含み製造業の景気悪化。
8	普通	サ業（対事業所）	福岡	医療・介護サービスのため、顧客数、売上が決められており受注・売上はほぼ横ばい。最低賃金が昨年上がったことにより利益はやや減少している。
9	悪い	サ業（対事業所）	福岡	人手不足による受注機会の逸失。
10	悪い	建設業（建築）	筑豊	依頼（仕事の案件）が若干少なかった。
11	非常に悪い	建設業（設備）	福岡	公共工事が動いていない。
12	非常に悪い	製造業（消費財）	福岡	新年度に入り工事量の減少のため。

業種・従業員規模・地域別の特徴

業種別の動向

製造業（消費財）と商業・流通業は、景況DIが好転しました。それ以外の業種の景況DIは前回よりも悪化しており、特に製造業（生産財）と建設業（設備）は大幅に悪化しています。次期予想DIは建設業（土木）がマイナス域ですが、その他の業種はプラス域になっています。製造業（消費財）と建設業（設備）及び商業・流通業は好転しています。

従業員規模別の動向

20名以下の規模の企業を見ると、各指標の悪転が目立ちます。しかし次期予想DIはプラス域で高い数値を示しています。21名～50名規模の企業では、利益DIが前回マイナス域でしたが今回はプラス域へ好転しています。

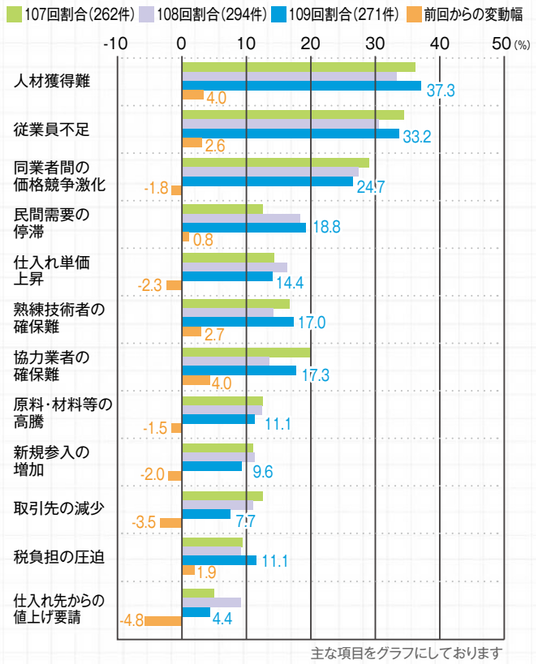
本社地区別の動向

地区別の動向を見ると、ほとんどの指標が悪化もしくは悪転しています。福岡地区は悪化していますがプラス域が目立ちます。北九州地区はマイナス域が目立ちますが新規受注DIは好転しています。次期予想DIを見ると、福岡地区と北九州地区はプラス域で高い数値となっておりますが、筑豊地区と県南地区は前回よりも悪化または悪転となっています。

経営上の問題点

● 人材に関する課題が再度上昇

前回減少していた人に関する問題点である「人材獲得難」「従業員不足」「熟練技術者の確保難」「協力業者の確保難」が再び上昇しました。「同業者間の価格競争激化」や「取引先の減少」などの課題は減少傾向にありますが、「民間需要の停滞」は右肩上がりで上昇しています。



主な項目をグラフにしております

業種別の経営上の問題点

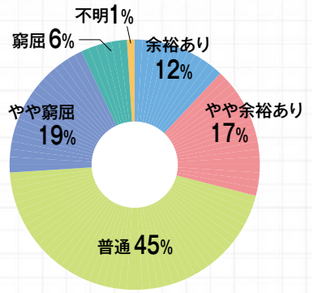
経営上の問題点を業種別に見ると、製造業（生産財・消費財）では共通して「民間需要の停滞」が挙げられています。建設業（建築・設備・土木）では「熟練技術者の確保難」と「仕入れ単価上昇」がそれぞれ挙げられています。商業・流通業では「原料・材料等の高騰」が多く挙げられています。

・各業種別回答数に対するパーセント　・色付きセルは上位5項目

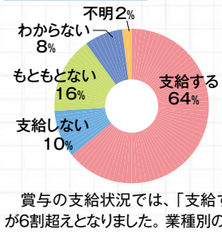
%	全体	製造業（生産財）	製造業（消費財）	建設業（建築）	建設業（土木）	建設業（設備）	商業・流通業	サービス業（対事務所）	サービス業（対個人）
回答件数	271	25	15	32	10	14	27	96	52
人材獲得難	37.3	32.0	26.7	40.6	30.0	42.9	44.4	40.6	30.8
従業員不足	33.2	16.0	20.0	34.4	50.0	35.7	33.3	33.3	40.4
同業者間の価格競争激化	24.7	20.0	46.7	15.6	0.0	21.4	55.6	19.8	25.0
協力業者の確保難	18.8	24.0	20.0	15.6	20.0	14.3	33.3	12.5	23.1
熟練技術者の確保難	17.3	24.0	0.0	37.5	60.0	50.0	0.0	14.6	3.8
仕入れ単価の上昇	17.0	28.0	13.3	21.9	40.0	28.6	3.7	16.7	9.6
原料・材料等の高騰	14.4	20.0	40.0	25.0	10.0	35.7	25.9	3.1	7.7
民間需要の停滞	11.1	36.0	26.7	15.6	10.0	14.3	11.1	4.2	3.8
取引先の減少	11.1	4.0	13.3	12.5	0.0	0.0	0.0	11.5	23.1
新規参入の増加	9.6	0.0	6.7	0.0	0.0	7.1	7.4	13.5	17.3
税負担の圧迫	7.7	4.0	6.7	3.1	0.0	0.0	11.1	8.3	13.5
販売先からの値下げ要請	6.6	4.0	6.7	6.3	0.0	0.0	7.4	7.3	9.6
大企業進出による競争激化	6.3	0.0	6.7	6.3	30.0	21.4	3.7	7.3	0.0
事業資金の借り入れ難	5.5	12.0	0.0	0.0	0.0	7.1	3.7	7.3	5.8
仕入れ先からの値上げ要請	4.8	4.0	13.3	6.3	0.0	0.0	7.4	6.3	0.0
官公需の停滞	4.4	8.0	13.3	6.3	0.0	0.0	7.4	3.1	1.9
金利負担の増加	1.5	4.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
輸入品による圧迫	1.1	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8
その他	7.4	4.0	6.7	3.1	10.0	0.0	7.4	8.3	11.5

資金繰り

資金繰りについては、25%が「窮屈」と回答し、約3/4は資金繰りが問題ない状態となりました。

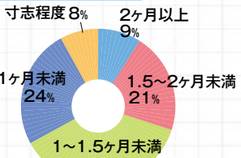


夏の賞与予定



賞与の支給状況では、「支給する」が6割超えとなりました。業種別の支給状況では、商業・流通業が支給率が高いです。

夏の賞与基準



支給基準の調査では、約7割が「1ヶ月分以上」と約3割が「1ヶ月未満・寸志」と回答しています。

新卒採用について

カテゴリ	件数	（全体）%
1名採用	24	8.7
2名採用	11	4.0
3名採用	4	1.4
4名採用	7	2.5
5名採用	5	1.8
採用していない	211	76.2
不明	15	5.4

8割の企業が今年度は新卒を採用していないと回答しました。採用した企業を見ると、1名採用が最も多く、続いて2名が多くなっています。

経営指針の作成と実践

カテゴリ	第108回（%）	第109回（%）	増減
作成し実践している	31.5	32.7	1.2
作成しているが実践なし	23.1	23.2	0.1
作成に至っていない	41.6	39.0	-2.6
作成する必要はない	3.8	5.1	1.3
	100	100	

経営指針書の検証について

カテゴリ	件数	（全体）%
毎月検証している	37	13.4
毎月ではないが検証している	36	13
年に1回は検証している	15	5.4
全く検証していない	3	1.1
不明	186	67.1

今回の調査では、「作成し実践している」と回答した企業の割合が増加し、「作成に至っていない」と回答した企業の割合は減少しました。指針書の検証についてでは、作成している企業の約40%は「毎月検証している」と回答しました。「全く検証していない」と回答した割合は前回は1%でしたが今回は3%と増加しています。景況感と指針書作成状況のクロス分析では、全体的にDI値は減少していますが「作成し、実践している」企業は景況DIがプラス域となっています。しかし「実践できていない」「作成に至っていない」と回答している企業はDI値がマイナス域を推移しています。経営指針書の作成と実践が景気悪化の影響を抑えていることが分かる結果となりました。

インターンシップ受入状況について

業種	予定あり	予定なし
製造業（生産財）	3	7
製造業（消費財）	2	3
建設業（建築）	9	10
建設業（設備）	1	6
建設業（土木）	1	2
商業・流通業	3	6
サービス業（対事業所）	13	27
サービス業（対個人）	12	6
空白	8	19
総計	52	86

規模	予定あり	予定なし
0名～5名	3	25
6名～10名	7	11
11名～20名	5	15
21名～30名	10	4
31名～50名	6	5
51名～100名	6	5
100名以上	7	2
空白	8	19
総計	52	86

インターンシップ受入状況の調査では、「受入あり」と回答した企業の多くが1～3名の受け入れとなっています。従業員規模別に見ると0～5名規模の企業も受け入れを行っており、企業規模に関わらず受け入れを行っていることが分かります。

室長談話

情勢や経営環境が悪化しているのに、今後に対する警戒感が薄い。働き方改革施行に伴う人材獲得が課題。

9月の行事案内

10 火 15:00～17:30 ソーシャルビジネス委員会 9月例会

森林ビジネスサミット in 油山

■ **油山市民の森** 福岡市南区大字柏原855-4 ☎092-871-6969
■ **水落　啓介** 氏　一般財団法人福岡市市民の森協会
■ **吉村　正春** 氏　株式会社林研ワークス
■ **中島　宏典** 氏　福岡の森八女の木プロジェクト

日本の国土の約7割が森林であり、世界でも有数の資源であるその森林が、いま放置され社会問題となっています。日本のポテンシャルともいえる森林を、ビジネスで解決していこうと動きが日本各地にあります。福岡県内でも取り組みが進んでいる八女、糸島でのビジネス事例を、実践者に報告していただきます。

17 火 18:30～21:00 博多支部 9月例会

現状維持からの脱却 ～二人の若手経営者の挑戦～

■ **ウィズ・ザ・スタイル・フクオカ** 福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3900
■ **馬場　　智** 氏　unity株式会社　代表取締役　博多支部
■ **白水　雄也** 氏　有限会社白水建工　専務取締役　博多支部

挑戦する会社にこそ、「成長と安定」が訪れるものです。今回の例会は、挑戦しつづける2人の若手経営者に体験報告をしていただきます。ひとりは既存事業を強化し複数店舗経営をしている方。もうひとりは本業とは別に新たな事業を展開する方。お二人がどのような夢を描き、どのような理念をもとに経営をしているのかという話から、挑戦することの大切さや自社のビジネスの今後を考えます。

17 火 18:30～21:00 糸島支部 9月例会

社長の覚悟で会社が変わる ～不可能を可能にする実践力～

■ **前原公民館 大会議室** 糸島市前原東2-2-5 ☎092-322-2481
■ **有田　栄公** 氏 有田電器情報システム株式会社　代表取締役　飯塚支部

家電販売店を継いだ有田氏は、2000 年に新規IT 事業を創業。その徹底した実践力で海外にも業務を拡大しています。現在の社会の変化や環境に対応するための企業体質強化、経営指針の成文化と実践、同友会との係わり方などを学び、全会員企業の業績向上を目指します。会社を本気で良くしたい方、ぜひお越しください。

17 火 18:30～21:00 北九州支部 9月例会

土台づくりの20年から飛躍へ ～つかめ!企業飛躍のポイント!～

■ **TKP駅前カンファレンスセンター　第1会議室**
北九州市小倉北区浅野2-14-2 小倉興産16号館 9F ☎093-522-3080
■ **三谷　俊介** 氏 株式会社アンサー倶楽部　代表取締役　北九州支部

一人創業から上場をめざして成長をつづけるアンサーホールディングス。今、その過程を振り返り、そして未来をめざす!

17 火 18:30～21:00 大牟田支部 9月例会

働き方改革とは? ～全般と中小企業に求められる対策～

■ **大牟田文化会館**　大牟田市不知火町2-10-2 ☎0944-55-3131
■ **畠本　智仁** 氏 社会保険労務士法人ほし事務所　社会保険労務士　大牟田支部

「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」「育児や介護との両立など、働く方のニーズの多様化」などの状況に直面し、企業にとって就業機会の拡大や意欲・能力を存分に発揮できる環境を作ることは重要な課題になっています。こうした自社を取り巻く社会環境の変化に対応することは企業にとって必須です。厚労省が進める働き方改革を把握し、社員さんがより良い将来の展望を持てるようそれに対応した企業づくりと対策を学びます。

18 水 18:30～21:30 東支部 9月例会

人材採用及び定着率の向上(仮) ～人を生かす経営の実践～

■ **ウィズ・ザ・スタイル・フクオカ** 福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3900
■ **福留　　進一** 氏 株式会社現場サポート　代表取締役　博多支部・鹿児島同友会副代表理事

18 水 18:30～21:00 田川支部 9月例会

労使見解を学ぶことによって会社はこうなる!!

～経営者の覚悟～

■ **たがわ情報センター**　田川市番田町2-1 ☎0947-49-3220
■ **佐野　典久** 氏　株式会社佐野疊屋　代表取締役　田川支部

同友会の著書「人を生かす経営～中小企業における労使関係の見解～」を通じて経営者の在り方、共育の考え方に気付く機会とします。同友会ではよく耳にするワード"労使見解"とは一体なんなのか?なぜ労使見解が必要なのか?9月例会を通して労使見解の本質に迫ります。

19 木 有明支部 9月例会

親睦例会

19 木 18:00～20:30 福博支部 9月納涼例会

福博ゴリンピックを成功させよう! ～令和 万葉の湯 プレゴリン例会～

■ **博多万葉の湯**　福岡市博多区豊2-3-66 ☎092-452-4126

ひとっ風呂浴びた後、ビールと料理で夏の疲れを癒しながら、各ブロックの現状と課題を抽出して支部全体に共有する。その上で大例会についての抱負を語る。

19 木 18:30～21:00 中央支部 9月例会

その経営課題、実は強みだった!? ～視点の変換と気付き～

■ **天神チクモクビル5階大ホール**　福岡市中央区天神3-10-27 ☎092-715-3250
■ **古川　淳一** 氏　有限会社ニッコー・ネット　代表取締役　博多支部

情報収集とマーケティングを得意とする古川氏から、自社の経営課題が目先を変えることで、ビジネスチャンスと変えることができるということを学びます。例会を通して、発想の転換のきっかけになるのでは!!

19 木 18:30～21:00 西支部 9月例会

あえて言おう!B・P・Cであると!

～自分そして会社を変革・成長させるための経営指針への取組み～

■ **天神ビル11階11号会議室** 福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920
■ **木村　哲也** 氏　B・P・C合同会社　代表社員　西支部

報告者の木村さんは、3年前同友会に再入会後、支部活動や経営指針作成セミナー、経営労働委員会と参加し深く関わっていくことにより、自身の殻を破り急成長を遂げてきました。木村さんの内面の葛藤や自己変革へのプロセスをじっくりお話しいただきます。

19 木 18:20～20:50 筑紫支部 9月例会

本当の「働き方改革」を目指す!(仮)

～社員が生き生きと働く職場づくりとは?～

■ **筑紫野市生涯学習センター**　筑紫野市二日市南1-9-3 ☎092-918-3535
■ **井上　透** 氏　株式会社大洋サンソ　代表取締役　福友支部

経営を学ぶためMBAまで取得した井上氏。社長就任後、社員のために様々な改革を実施したものの退職が相次いでしまう。一生懸命学んできた自負心と会社を引っ張らなければという責任感が社員の気持ちを置き去りにしていたことに気付く。そこで井上氏が考えた次の一手とは。

19 木 18:30～21:00 福友支部 9月例会

繋ぐための企業づくりとは

■ **ウィズ・ザ・スタイル・フクオカ** 福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3900
■ **曽根田　馨** 氏 株式会社カクマル　取締役会長　福友支部

19 木 18:30～21:00 ひびき支部 9月例会

自分自身を大きく変えるチャンスを手に入れよう!!

～自社の悩みの解決方法のきっかけが同友会活動に～

■ **コムシティ204会議室** 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎093-641-9360
■ **宮本　成樹** 氏　有限会社サークル・アイ　代表取締役　北九州支部

同友会活動の参画する側になった時自分に何が起きるのか、どんないい事があるのかを知ってもらう為に、昨年北九州支部の支部長をされていた㈲サークル・アイの宮本さんに積極的に同友会活動の参加することで得たもの、気づき、役得、自分自身に変化等を報告していただきます。

19 木 18:30～21:00 飯塚支部 9月例会

同友会員を知る会 ～改めて仲間の仕事を知ろう?～

■ **バドゥ・ル・コトブキ**　飯塚市片島1-7-62 ☎0948-22-5138
■ **元嶋　律子** 氏　■ **池田　由香** 氏　■ **藤川　聡** 氏　■ **十亀　成宗** 氏
■ **Thiri Myo Thant** 氏　■ **明石　美紗子** 氏　■ **藤本　和枝** 氏

日々の同友会活動・例会を通して会員同士の経験と知識を交流している私たちですが、更に深い会員同士の仕事内容を知っているでしょうか。会員同士がお互いの業務内容をより深く知ることで、更なる連携が生まれるのではないのかと思います。9月例会は「原点回帰」のスローガンのもと、支部会員が一丸となれる例会を目指します。

19 木 18:30～21:00 りょうちく支部 9月例会

久留米市田主丸地区の植木生産の未来図

～田主丸の植木は我々が守る!～　■ **会場未定**(田主丸町内)

■ **草野　恭明** 氏　カミハル　代表者　りょうちく支部
■ **二又　朋則** 氏　金華園　代表者　りょうちく支部

同友会に入会しての気づきや現状の課題とビジョンについて報告していただきます。また久留米市田主丸町は植木の生産で日本一を誇る特異な地域です。現状の植木業界がどのような状況で今後どのようになるのか地元の基幹産業について学びます。

19 木 18:30～21:00 かすや支部 9月例会

経営の原則を学び基本に立ち返って自社を見つめてみましょう

■ **粕屋町商工会館**　糟屋郡粕屋町若宮2-3-1 ☎092-938-2456
■ **稲田　正信** 氏　再生クラブ　代表者

20 金 18:30～20:40 久留米支部 9月例会

自社のビジョンをどう実現していくのか!~経営労働委員会に学ぶ~

■ **みんくる会議室** 久留米市六ツ門町3-11くるめりあ六ツ門6階 ☎0942-30-9067
■ **吉武　鑑泰** 氏　株式会社良久良久　代表取締役　久留米支部

経営労働委員長の吉武氏より経営指針作成セミナーを開催している経営労働委員会が具体的にどのような活動をしているのか、またビジョンの作り方、考え方、それをどのように実現していけばよいのかなどを分かりやすく報告して頂きます。また、実際に経営指針作成セミナーを受講した方による感想とその後の変化を発表していただき、経営労働委員会が担っている同友会の立ち位置と重要性を認識し県の委員会活動についての理解を深める場とします。

24 火 18:30～21:00 南支部 9月例会

私の経営理念「人を活かす経営」

～人のチカラを信じ、育ててきたふくやの歩み～

■ **天神ビル11階　9号会議室**　福岡市中央区天神2-12-11
■ **川原　正孝** 氏　株式会社ふくや　代表取締役会長　南支部

辛子明太子を日本ではじめて製造・販売した㈱ふくや。社員の社交性や人間性を高めるためにマニュアルだけに頼ることなく一人ひとりの感性を磨きつづけた、川原さん流"人を活かす"経営についてお話をいただきます。

24 火 18:30～21:00 のおがた支部 9月例会

経営者とSDGs ～カードゲームを通してSDGsの理解を深めよう!～

■ **直方市中央公民館**　直方市津田町7-20 ☎0949-25-2241
■ **藤田　俊雄** 氏　行政書士　藤田俊雄法務事務所　代表者　のおがた支部

2015年、サミットにて全会一致で採択されスタートしたSDGs(持続可能な開発目標)。中同協において、2019年の課題と方針として「SDGsを学び同友会の人を生かす経営や環境経営の取り組みの先進性に確信を持ち、企業としてのあるべき姿を深めよう」とされています。またSDGsの目標達成に向け、中小企業の関与、推進は最も期待されるところであり、今後事業を継続していくうえで、SDGsの理解は必須といえます。今回の例会では、参加者の皆様と一緒に「SDGsとは何か」という本質を、カードゲームを通して、楽しく学んで行くことを目的とします。

24 火 18:30～21:00 FAST 9月例会

ホームページを生かす求人広告(仮)

■ **福岡県中小企業振興センター302会議室**　福岡市博多区吉塚本町9-15 3F
■ **田上　恭由** 氏　株式会社ワイコム・パブリッシングシステムズ　代表取締役社長　福博支部

24 火 18:30～20:30 (18:30～19:00委員会) 国際交流委員会 9月例会

台湾・日本間における海外事業の現状と重要性など

■ **㈱JEC**　福岡市博多区奈良屋町5-10 ☎092-409-6510
■ **陳　忠正** 氏　台北駐福岡経済文化辦事處　處長(総領事)

台北駐福岡経済文化辦事處(弁事処)の處長(総領事)である陳氏より台湾のマクロ経済の動向と政策、台湾の投資環境、日本間の貿易、事業連携事例、台湾の文化、歴史等についてご報告いただきます。

28 土 15:00～ 29 日 玄海支部 9月キャンプ例会

なごり夏 ～本音で語ろう経営を!～

■ **グリーンパル日向神峡**　福岡県八女市黒木町北大淵4410-2 ☎0943-45-1001

30 月 18:30～21:00 バリアフリー委員会・女性部委員会合同例会

ダイバーシティーで取り組む誰もが生き生きと働ける職場づくり(仮)

～現代社会の多様性や変化に、すばやく対応するために～

■ **アクア博多 会議室A**　福岡市博多区中洲5-3-8アクア博多 3階 ☎092-733-1310
■ **中村こずえ** 氏　有限会社エス・ケイ・フーズ　取締役　長崎同友会

今後、ますます人財不足が見込まれる中、ワーク・ライフ・バランスを満たす魅力ある職場環境を推進すると共に、多様な人財を活用していく必要があります。

お申し込み、お問合せは、e.doyu もしくは、同友会事務局までお願いします。お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。

一般社団法人福岡県中小企業家同友会

2019年度第3回理事会議事録(一部抜粋)

日時　2019年7月24日(水) 14時30分～17時38分
会場　福岡県中小企業振興センター　202号会議室

出席　39名(出席率86.7%)　　議長　重松　和孝(理事・筑豊地区会長)

協議事項

総会のあり方について

代表理事より総会のあり方の検討について、ロードマップ案と次回の理事会で協議する提起事項として下記2点が提案された。
・4月に県総会、5月に地区大会、支部大会の開催の方向で検討する。
※決算書類の提出時期をどう解決するかが課題となる。
・県総会を、代議員で行う代議員総会について研究する。
⇒出された意見を踏まえながら次回の理事会で協議すすめることを確認した。

確認・報告事項

報道記者との懇談会について

専務理事より報道機関記者懇談会の経過が報告された。企業発表について各地区から推薦された4社が発表され、後日記者クラブへ8月20日に開催する懇談会の案内が行われる。今後も会員企業の紹介の場として取り組みを進めていく方針で、開催結果については次回理事会で報告する。

理事会報告全文をe.doyuの文書管理(理事会報告-2019年度)にアップしています。会員の方は閲覧できます。

確認・報告事項

● 経営革新計画承認企業 2019年6月(県38件／うち同友会会員・企業4件)
・㈱宮原土木建設　宮原 清太 氏(玄海支部)
〈テーマ〉3Dレーザー測量で、古代遺跡のバーチャル保存から現代インフラの災害復旧までを再現
・㈱シー・エフ・ピー　花田 博道 氏(南支部)
〈テーマ〉屋外水道連結型初期消火活動ロボットの開発
・㈱ネオバンジー　新田　剛 氏(かすや支部)
〈テーマ〉美容・健康業界にむけた「食べる生ドレッシング」の販路拡大
・㈱ベルサービス　古賀　亨 氏(北九州支部)
〈テーマ〉ハウスクリーニングを核としたペットと人が快適で健康に暮らせる共生空間の提供
※ 累計で福岡県全体では6,476件、会員企業は延べ467件

表彰など

● 福岡市ふくおか「働き方改革」推進企業認定事業認定企業
〈令和元年(2社)〉
・㈱すこやか工房　光本 智恵子 氏(東支部)他2名
〈平成30年(12社)〉
・照栄建設㈱　岩猿 眞治 氏(南支部)
〈平成29年(4社)〉
※会員企業なし

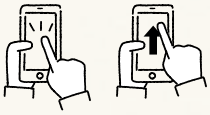
月刊 同友
第六三八号

ポケット月刊同友（クリカ）はじめました!!

今月号からスマホ用簡易WEBページ「ポケット月刊同友（クリカ）」をご利用いただけます。
月刊同友最新号はもちろん、最新の景況調査、イベント情報など、タップするだけで
簡単に情報を手に入れることができるんです。
使い方はとても簡単。スマートフォンをQRコードにかざせばもう「ポケット月刊同友」に繋がります。

メリット1 さくさく

ポケット月刊同友は4ページ構成。タップとスワイプだけの簡単操作で小気味よく情報を入手できます。



下から上にスワイプして次のページへ!

メリット2 「あのイベント、何時からだっけ?」

すぐに確認したいけれど手元に月刊同友がない、そんなときも「ポケット月刊同友」におまかせ!ホーム画面に登録しておけば、いつでもどこでも見ることができます。

ホーム画面に登録すればいつでも見れる!

メリット3 シェア

最後のページはシェアのページです。ラインやフェイスブック、ツイッターなど、9つあるシェアツールからお好みのものを選んで、みんなで情報を共有してください。

動画公開中

見どころが詰まったCM動画

百聞は一見にしかず。

さぁ今すぐかざしてみよう!

一般社団法人 福岡県中小企業家同友会
「月刊 同友」編集部
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

北九州地区センター
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル 808号
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

県南地区センター
〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366

http://www.fukuoka.doyu.jp/

福岡同友会 検索

環境を守るため再生紙を使用しています。

二〇一九年九月一日（毎月一回・一日発行）